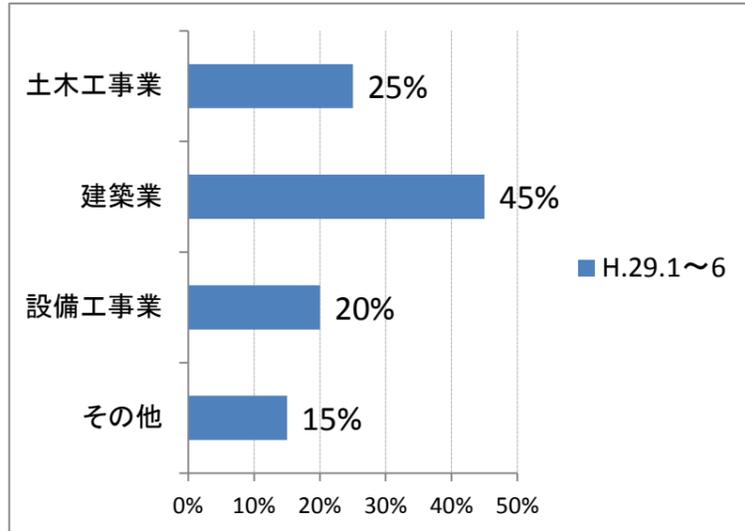


【平成29年7月実施 景況調査アンケート】

◆◆ 建設業 ◆◆

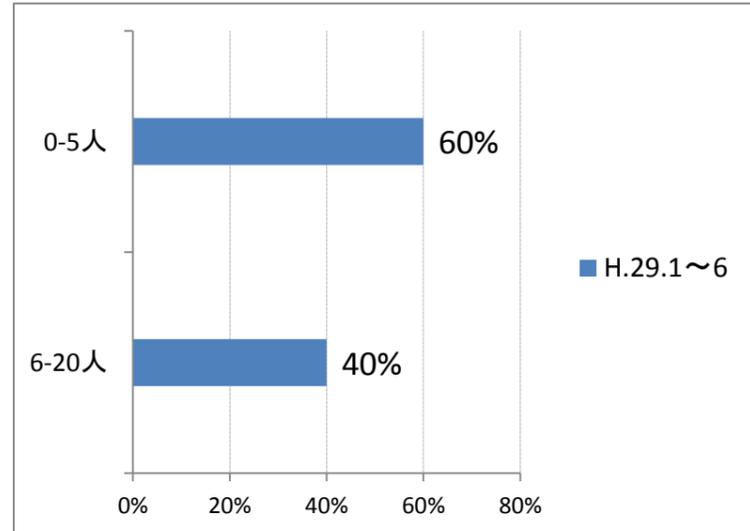
《 集計結果 》

【 分類別 】



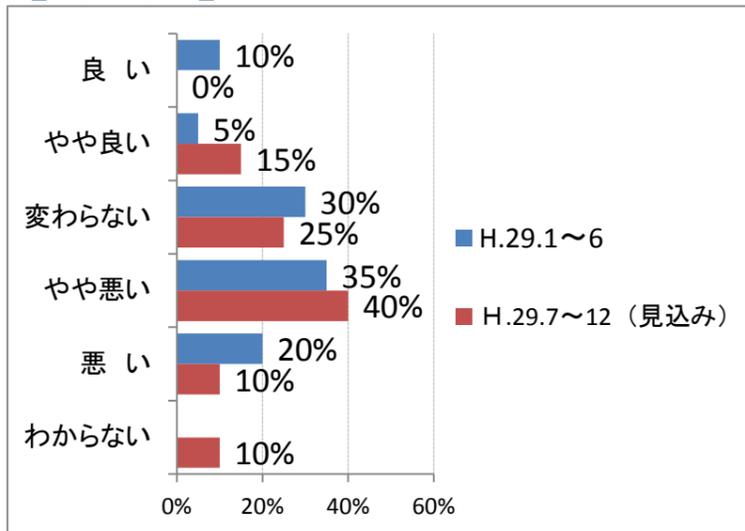
土木工事業25%、建築業45%、設備工事業20%、その他15%(造園業他)

【 従業員数 】



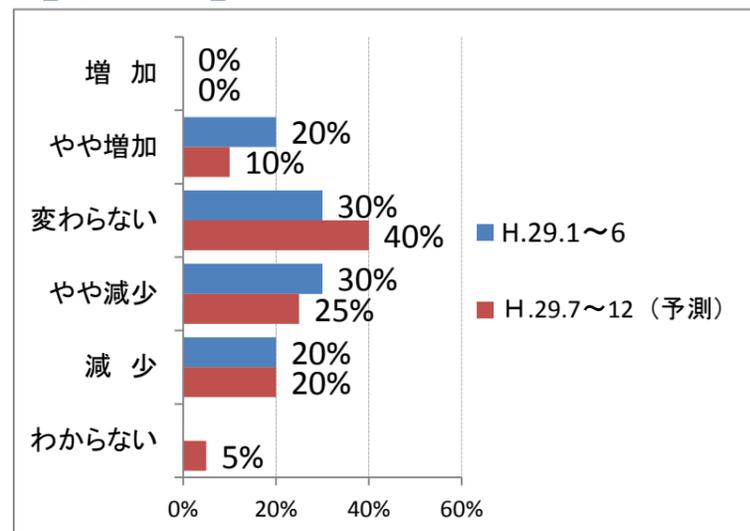
0~5人が60%、6~20人が40%という結果であった。

【 業 況 】



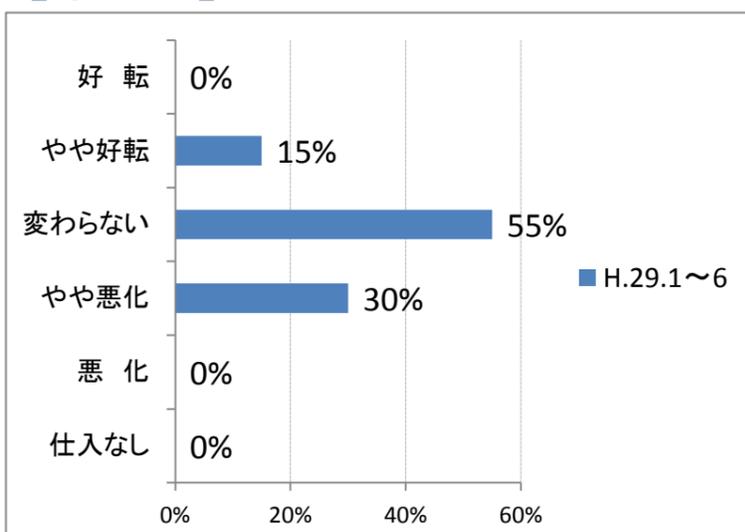
悪いとやや悪いが55%、良いとやや良いが15%という結果であった。30%の事業所が変わらないと回答している。

【 売 上 】



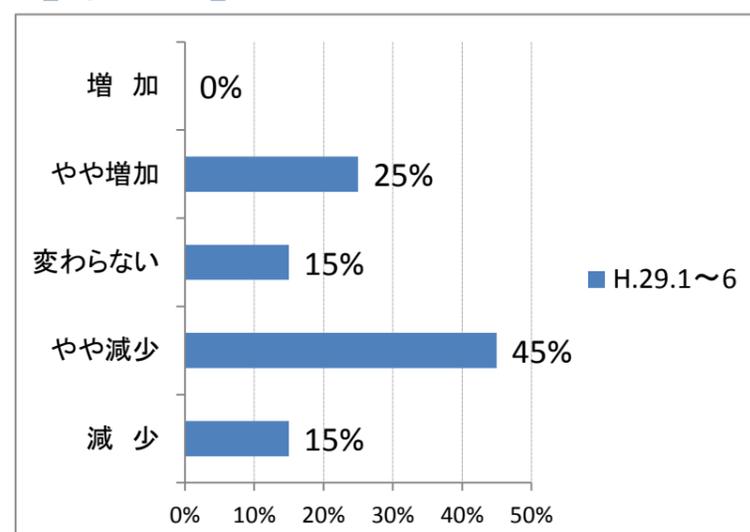
減少とやや減少が50%、やや増加が20%という結果であった。30%の事業所が変わらないと回答している。

【 仕 入 】



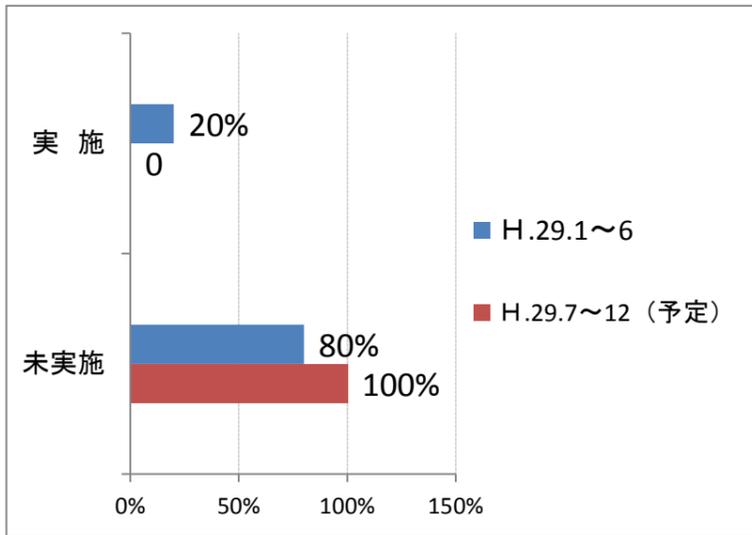
やや悪化が30%、やや好転が15%という結果であった。55%の事業所が変わらないと回答している。

【 利 益 】



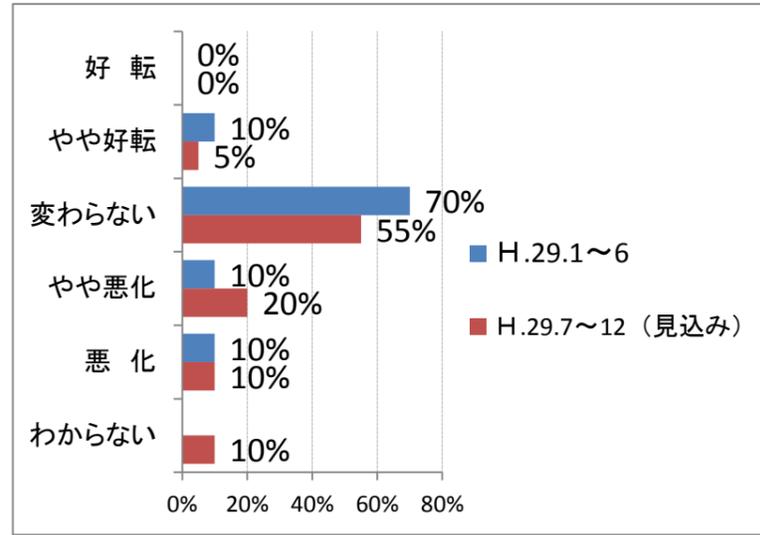
減少とやや減少が60%、やや増加が25%という結果であった。15%の事業所が変わらないと回答している。

【設備投資】



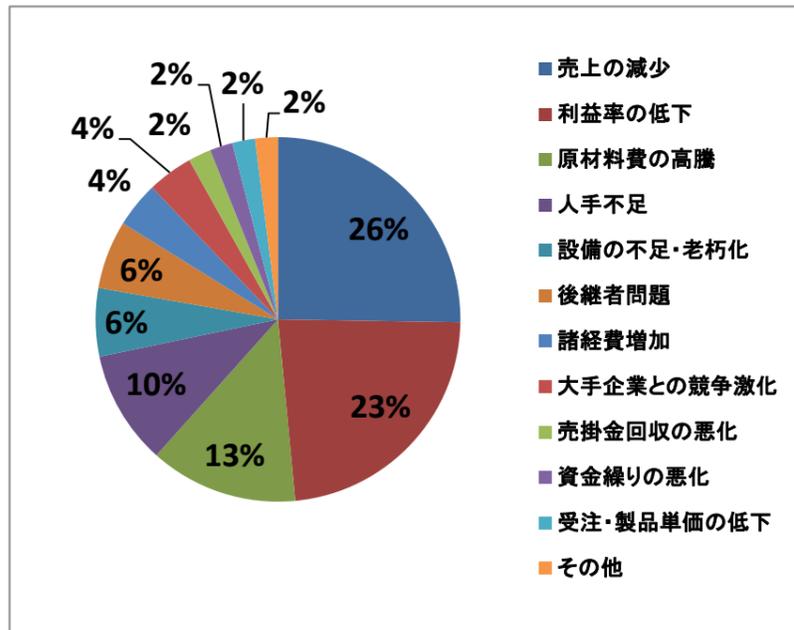
20%の事業所が設備投資を行っている。今後、平成29年7月～12月までは予定していない。

【資金繰り】



やや好転が10%、悪化、やや悪化が20%という結果であった。70%の事業所が変わらないと回答している。

《経営課題》



売上の減少	利益率の低下	原材料費の高騰	人手不足
26%	23%	13%	10%
設備の不足・老朽化	後継者問題	諸経費増加	大手企業との競争激化
6%	6%	4%	4%
売掛金回収の悪化	資金繰りの悪化	受注・製品単価の低下	その他
2%	2%	2%	2%

経営課題で一番多く挙げられたのが「売上の減少」で26%、次に「利益率の低下」23%、「原材料費の高騰」13%という結果であった。